



2026年4月17日

各 位

株式会社HODL1  
代表取締役CEO 田原 弘貴  
(証券コード：2345 東証スタンダード市場)  
(お問合せ先) 取締役CSO 田中 遼  
電話番号 03-6427-7380 (代表)

## 韓国最大級のイーサリアムイベント「Ethereum Korea One」における当社代表 取締役田原弘貴登壇のご報告

当社代表取締役CEO田原弘貴は、2026年4月16日、韓国・ソウルで開催された韓国最大級のイーサリアムイベント「Ethereum Korea One (EK1)」に登壇いたしました。

当社は、「イーサリアムカンパニーとして、金融インフラの未来を広げる」を掲げ、ETHの長期保有・運用を行う「HODL」事業とブロックチェーン技術の開発・社会実装を推進する「BUIDL」事業の両輪でイーサリアムエコシステムの拡大に貢献しています。今回の登壇は、こうした事業姿勢をアジア・グローバルのコミュニティへ直接伝えるとともに、グローバルなEthereumコミュニティとの知見の共有・ネットワーク形成を図る場として参加したものです。概要について下記のとおりご報告いたします。

### 記

#### 1 「Ethereum Korea One (EK1)」での登壇概要

- ・ イベント名：Ethereum Korea One (EK1)
- ・ セッション名：「Ethereum as an Asset I: Global Institutional Thesis」
- ・ 日時：2026年4月16日 (木) 19:25～19:45 (KST)
- ・ 登壇者：  
Joseph Chalom (SharpLink CEO)  
Michael Lee (Parataxis Ethereum CEO)  
田原弘貴 (HODL1 Inc.)
- ・ モデレーター：See Eun Ha (Lava VCパートナー)

・主催：Ethereum Korea Consortium (Ethereum Foundation ESP助成先によるエコシステム貢献プログラムの一環)

・ウェブサイト：<https://ethereumkorea.io>

## 2 登壇内容のハイライト

本登壇は、ナスダック上場企業として先駆けてETH DATモデルを採用したSharpLink Gaming Ltd. CEOのJoseph Chalom氏、韓国のETH DAT企業であるParataxis Ethereum CEOのMichael Lee氏とともに、当社代表取締役の田原弘貴がパネリストとして参加し、米国・韓国・日本のETH DAT企業3社のCEOが一堂に会するセッションとなりました。

セッションでは、地政学的不確実性の高まる中でETH DATへ投資する意義、各国における法規制環境の現状と機関投資家ニーズへの対応、そして今後3年間のETH DATモデルの展望など、多岐にわたるテーマについて3社のトップがそれぞれの視点から意見を述べました。会場には多数の機関投資家・エコシステム参加者が集まり、盛況のうちに閉幕いたしました。



## 3 当社代表取締役 田原弘貴 コメント

米国・韓国・日本のDAT企業3社が同じステージに立ち、それぞれの市場でイーサリアムエコシステムの発展に取り組んでいることを示せたことは、大変意義深い機会でありました。HODL1は、ETHの長期保有に加え、日本の金融システムへのイーサリアム技術の実装を推進することで、グローバルなオンチェーンファイナンスの主流化に貢献いたします。今回の登壇を通じ、アジアおよびグローバルのコミュニティとの連携をさらに深めてまいります。

以上